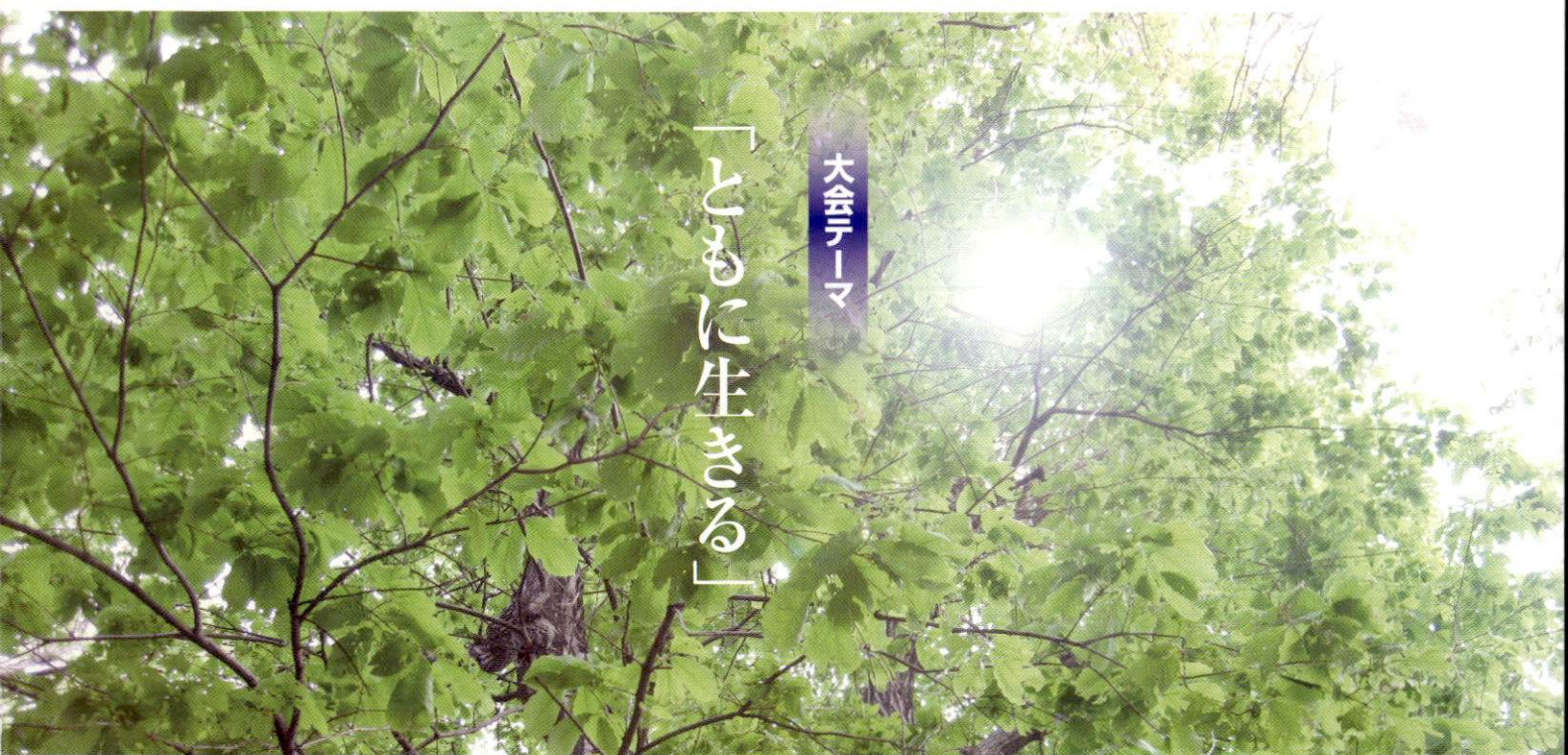


インターアクト年次大会報告書



開催日 2019年8月3日(土)

会場 長崎ブリックホール国際会議場

主催／国際ロータリー第2740地区 2019-2020年度 ガバナー 千葉憲哉

- ホスト 海星高等学校【提唱:長崎西RC】
- コ・ホスト 長崎女子商業高等学校【提唱:長崎南RC】
- コ・ホスト 純心女子高等学校【提唱:長崎中央RC】
- コ・ホスト 活水高等学校 【提唱:長崎出島RC】
- コ・ホスト 長崎女子高等学校【提唱:長崎RC】

国際ロータリー第2740地区 2019-2020年度 インターアクト年次大会プログラム

大会テーマ 「ともに生きる」

9:20 登録受付 国際会議場前

10:00 開会式 会場:国際会議場 司会 海星高等学校 放送部
点 鐘 海星高等学校IAC会長 小川 佳恩
開会宣言 海星高等学校IAC会長 小川 佳恩
10:03 国歌斉唱ならびにインターアクトの歌斉唱
..... ソングリーダー 海星高等学校 中村 楓子
10:06 来賓・ロータリアン紹介 司会 海星高等学校 放送部
10:10 大会参加クラブ紹介 司会 海星高等学校 放送部
10:15 ガバナー挨拶 ガバナー 千葉 憲哉
10:20 来賓挨拶 長崎市長 田上 富久 様
10:25 ホスト校校長挨拶 海星高等学校校長 武川 眞一郎 様
10:30 地区インターアクト委員長挨拶 地区IA委員長 徳川 清隆
10:33 ホスト校提唱ロータリークラブ会長挨拶 長崎西RC会長 許斐 義彦
10:36 ホストインターアクトクラブ会長挨拶 海星高等学校IAC会長 小川 佳恩

10:41 休 憩

11:00 基調講演 演題「生きることをあたりまえの世界に～人道援助の壁～」
..... 講師 国境なき医師団日本前会長 黒崎 伸子 様

12:00 午後の集い(昼食) 長崎新聞文化ホールアストピアへ移動

13:15 吹奏楽部演奏 司会 海星高等学校 放送部
..... 演奏 純心女子高等学校 吹奏楽部

移動…分科会会場へ

14:00 分科会

第1分科会「海洋ゴミ問題について」……………担当 長崎女子商業高等学校

第2分科会「車椅子体験」……………担当 純心女子高等学校

第3分科会「SNS関係(ネット依存の現状と課題)」……………担当 長崎女子高等学校

15:35 分科会全体報告 会場:国際会議場

16:00 閉会式……………司会 海星高等学校 放送部

16:07 優秀インターアクトクラブ表彰……………地区IA委員長 徳川 清隆

16:22 大会総評……………地区IA委員長 徳川 清隆

16:30 次年度ホスト校挨拶……………活水高等学校IAC幹事 板井凜々花

16:35 閉会の言葉……………海星高等学校IAC会長 小川 佳恩

16:40 点 鐘……………海星高等学校IAC会長 小川 佳恩



主催者挨拶

国際ロータリー第2740地区
2019-2020年度ガバナー
千葉 憲哉



おはようございます。皆さん！ 元気ですか？ 今日は大変な猛暑ですね。それに加えて、皆さんの若い熱気が伝わってきます。

第2740地区2019-2020年度ガバナー千葉憲哉です。

「ともに生きる」をテーマに国際ロータリー第2740地区、第37回インターアクト年次大会の開催される事をお喜び申し上げます。

ホスト校の海星高等学校、コホスト校長崎女子高等学校、長崎女子商業高等学校、活水高等学校、純心女子高等学校、インターアクト年次大会実行委員長の劉済昌さん、ホスト校提唱クラブ長崎西ロータリークラブおよび会長許斐義彦さんの皆様の多くの努力で本日をむかえられました。ロータリアン一同、深く感謝申し上げます。

インターアクトは1962年6月国際ロータリーのプログラムとして発足。57年になります。国際ロータリー第2740地区には22校のインターアクトクラブ、21の提唱ロータリーがあり、目的としてクラブ運営、社会奉仕、国際理解を掲げて多くの実績を上げています。

私達ロータリアンの行動の基軸は「奉仕の理想」すなわち「他人を思いやり、他人の為に尽くすこと」であります。

私がガバナーとしてお願いしたいのは、インターアクターの皆さんもこの「他人を思いやり、他人の為に尽くすこと」の理念を一生忘れず、これを育んでいただきたいのです。

2019年4月28日、福岡国際会議場において、九州の第2700、2720、2730、2740地区合同主催開催で「お互いの気づき、お互いの学び」をテーマに第7回全国インターアクト研究会が開催され、10校が参加しました。聖和女子学院高等学校は「国際理解」の事例を紹介し、さらには佐賀県立唐津西高等学校が活動を報告。この大会でも発表の根底に流れるのは「他人を思いやり、他人の為に尽くすこと」のような気がしました。若者を取り巻く環境は世界のグローバル化とともに大きく変化し、青少年国際交流も盛んとなり、ロータリークラブでも国際青少年交換学生の交流事業など、多くの若者の国際活躍支援を行っています。

本日は講演で、長崎が生んだ「国境なき医師団日本前会長」の黒崎伸子先生のお話が聴けるとの事です。ソマリアなどの銃弾が飛び交う戦場で活躍され、その中に「自ら描かれる理想の医師像」を求められ挑戦されています。これほど貴重なお話はめったに聴けません。青春の貴重な指針となるでしょう。

猛暑の中ではありますが、健康に留意され意義ある一日を過ごされる事を祈念申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

来賓祝辞

長崎市長
田上 富久 様



国際ロータリー第2740地区の2019-2020年度インターアクト年次大会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

国際ロータリー第2740地区のインターアクトクラブの会員の皆様方におかれましては、地域社会への奉仕活動と会員相互の親睦を通して、人々が手を取り合って行動する世界を目指しており、それらの活動と通じて、住民福祉の向上をはじめ、本市市政の推進に多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

また、提唱ロータリークラブのもと、地域を、長崎、そして日本の未来を担っていく12歳から18歳までの青少年の皆様が、同世代の参加者と交流を深め、学校や地域社会のために楽しく意義ある活動を行い、ボランティア精神と国際感覚を身につけることができる、このような経験は、これから皆様が大人へと成長する中で、大切な礎となることと思います。

今回の大会では、「ともに生きる」を大会テーマに、国境なき医師団前会長 黒崎伸子様 の講話『生きることをあたりまえの世界に～人道援助の壁～』を聞き、「海洋ゴミ問題について」「車椅子体験」「SNS関係(ネット依存の現状と課題)」という3つの分科会に分かれて学ばれるとお伺いしております。この大会において、他校の高校生との交流を通して人と繋がる大切さ、そしてさまざまな視点から世の中を見つめ、「ともに生きる」ことの意味をそれぞれが考えることができるよう、皆様の成長をご期待申し上げます。

今年は「令和」という新しい時代を迎えました。長崎市におきましても、時代の変化に対応しながら、さまざまな問題を解決し、未来の長崎がもっと明るく、活気あるまちになるよう更に力を入れて取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、第2740地区のロータリークラブ並びにインターアクトクラブの皆様方のご健勝・ご多幸を祈念申し上げまして、私のお祝いとさせていただきます。



ホスト校校長挨拶

海星高等学校
校長 武川眞一郎 様



ご来場の皆様、おはようございます。

本日、2019-2020年度・国際ロータリー第2740地区・インターアクト年次大会を開催できますことを、ホスト校として大変嬉しく思います。皆様、佐賀県、長崎県の各地からようこそおいでくださいました。心より歓迎いたします。

ホスト校を務める海星高校は、1892年にカトリックの修道会であるマリア会によって創立されたミッション・スクールです。「神愛人間愛」を建学の精神とし、他者のために他者とともに生きる人間の育成を教育目標とする学校です。国際ロータリー第2740地区には、現在22校のインターアクトクラブがありますが、クラブ運営、社会奉仕、国際理解を掲げ、熱心に日頃の活動に励まれています。インターアクトクラブの「他者への奉仕」という活動理念は、本校の教育目標と全く同じ志であると深く実感しております。

今回の大会テーマは「ともに生きる」です。私たちが今置かれている場で、身近なところで、私たちの助けを必要としている人がいるかもしれません。そのような人たちの存在に気づき、真摯に耳を傾け、心から寄り添い、自分にできることは何かと考え、具体的に行動を起こしていくことが大切だと思います。このあと基調講演をいただき、午後の部ではコ・ホスト校のご協力のもと3つの分科会で皆様に意見交換をしていただきます。限られた時間ではありますが、皆様にとって、お互いの交流を深め、「ともに生きる」ことを考える充実した年次大会になることを願っております。

最後になりましたが、長崎西ロータリークラブの皆様をはじめ、ご支援とご協力をいただきました全てのロータリアンの皆様、関係各位の皆様に心から感謝を申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。



地区IA委員長挨拶

地区IA委員長
徳川 清隆



本日は大変暑い中、また、ご公務ご多忙の中、長崎市長田上富久様、海星高等学校校長武川眞一郎様、国際ロータリー第2740地区千葉憲哉ガバナーをご来賓にお迎えし、多くの方々にお集まりいただき誠にありがとうございます。

第37回となりますインターアクト年次大会が、このように盛大に開催されますことに、お祝いとともに主催者側として心よりお礼申し上げます。海星高校インターアクトクラブの皆様におかれましては、顧問の福田先生のご指導のもと、ホスト校役として準備から開催に至るまで大きな役割と大変なご苦労があったと思います。本日、そのご苦労が実を結ぶ時となりました。そして、この年次大会開催に当たり、日頃よりご協力をいただいております竹川校長先生をはじめとする学校関係者の皆様、後方よりご支援いただいております提唱ロータリークラブの長崎西ロータリークラブ許斐会長、劉大会実行委員長をはじめとしますクラブの皆様方、コ・ホスト校である長崎女子高校インターアクトクラブ、活水高校インターアクトクラブ、純心女子高校インターアクトクラブ、長崎女子商業インターアクトクラブ、並びに、その提唱ロータリークラブの長崎ロータリークラブ、長崎出島ロータリークラブ、長崎中央ロータリークラブ、長崎南ロータリークラブの会員皆様方のお力添えに敬意を表する次第でございます。現在、2740地区には、22校のインターアクトクラブと21の提唱ロータリークラブがあります。世界においては、約20,000クラブ、インターアクターは約470,000人が活動しているところです。

当地区のインターアクトクラブでは、大きく分けると、クラブ運営、社会奉仕、国際理解を掲げ日頃の活動を行っておられると思います。校内外活動での清掃活動、募金活動や献血活動、施設訪問、地域行事への参加、国際交流など多種多岐にわたり積極的に活動されていると認識しております。その中、何よりも重要なのは12歳から18歳の感受性の高い時期のインターアクターの皆さんが、この意義ある活動で経験された様々なことは、その後の人格形成の上で大変重要なことだと確信しているところです。地区のインターアクト委員会では、年次大会後のステップアップとして、これらの情報を収集・共有し、10月と2月の年2回の指導者研修会の機会を計画しております。ぜひ、積極的に参加していただき、皆様の活動の役に立てていただきたいと思います。

今年度の年次大会のテーマは「ともに生きる」です。本日の基調講演では、国境なき医師団の元会長であられました黒崎伸子先生のご講話をいただきます。その後、それぞれ3分科会に分かれての研修が計画されています。どうぞ大きな世界観を持って、「ともに生きる」ことへの理解が深まる研修となりますことを願っております。本日は、インターアクターの皆さん一人ひとりが主役です。そして、参加された皆様方が有意義な一日となりますことをご期待申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いします。

ホスト校提唱RC 会長挨拶

長崎西RC
会長 許斐 義彦



まずはじめに、長崎市長 田上富久様、海星高等学校校長 武川真一郎様、国際ロータリー第2740地区ガバナー千葉憲哉様には、大変ご多忙中にも関わらずご臨席賜り厚く御礼申し上げます。また、インターアクトの皆さん、顧問の先生方、提唱クラブのロータリアンの方々、年次大会関係者の方々をお迎えして、2019-2020年度のインターアクトクラブ年次大会をこのように盛大に長崎市で開催できますことを、ホスト校海星高校の提唱クラブ長崎西ロータリークラブといたしまして、歓迎と感謝の気持ちを申し上げます。

今年度の年次大会のテーマは、昨年度のテーマ「つなぐ」をさらに前進させた「ともに生きる」に決定したとホスト校海星高校の皆さんからお聞きしました。

本日の基調講演をお願いいたしました黒崎伸子先生は、皆様ご存じの“医療、人道支援活動”を行う“国境なき医師団”の活動に参加されて、その日本の会長も経験されています。先生は、世界で助けを求めている人に本日のテーマであります「ともに生きる」ことを情熱をもって実践されています。本日は、「生きることをあたりまえの世界に～人道支援の壁～」というタイトルで御講演をいただきます。

また午後の部の初めは、特別参加の純心高校の吹奏楽クラブに演奏していただきます。そして分科会では、3会場に分かれていただき①海洋ゴミ問題について②車椅子体験③ネット依存の現状と課題で開催されます。この3つとも最近、喫緊の社会問題として関心を集めマスコミ等で取り上げられている重要なテーマだと思います。

最後に、本日で参加のインターアクトクラブの皆さんが親睦を深め、日頃、考え疑問に思っていることを討論していただき、本日の年次大会が思い出に残る素晴らしい大会になることを祈念いたしまして、提唱ロータリークラブ会長の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



ホスト校IAC会長挨拶

海星高等学校インターアクトクラブ
会長 小川 佳恩



ご来場の皆様、おはようございます。

海星高等学校インターアクトクラブ会長の小川佳恩です。本日は、ご多用の中、年次大会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

ホスト校を務める海星高等学校は、歴史と伝統のあるカトリックの学校です。「神愛人間愛」を校訓とし、今年で創立127周年を迎えています。

本大会のテーマは「ともに生きる」です。私たちは、誰かと協力し、誰かに支えられながら生きているということを、考える日になるよう願っています。

今回の基調講演は、国境なき医師団日本の前会長で、現在は黒崎医院の院長として活躍されている、黒崎伸子先生をお迎えして、「生きることをあたりまえの世界に～人道支援の壁～」という演題で講演をしていただきます。今の私たちが行動できることは少ないかもしれませんが、関心を持ち国際理解を深める機会にしたいと思います。

分科会は、コ・ホスト校の皆様にご協力いただきました。

第1分科会は、長崎女子商業高校による「海洋ゴミ問題」についての発表です。近年、問題とされる環境保全について考える機会にしていきたいと思います。

第2分科会は、純心女子高校による「車椅子体験」です。障害をお持ちの方への理解を深める機会にしていきたいと思います。

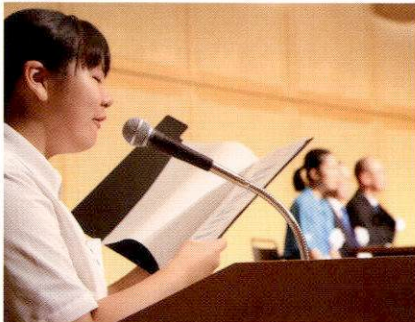
第3分科会は、長崎女子高校による「SNS関係」についての発表です。使用方法や問題点について考え直す機会にしていきたいと思います。

本大会を通してお互いの交流を深め、「ともに生きる」ことを見つめ直す機会となるように願っています。

最後に、充実した年次大会になりますことを願って、私の挨拶といたします。



開会式



基調講演 「生きることをあたりまえの世界に ～人道援助の壁～」

講師 国境なき医師団日本前会長
黒崎 伸子 様



講演スライドは著作権や肖像権等の問題もあるため、掲載を控えさせていただきます。

プロフィール

1957年、長崎県生まれ。長崎大学医学部卒業。長崎大学病院第1外科講師、健康保険諫早総合病院、長崎医療センター小児外科医長、長崎病院外科医長などを経て、現在は黒崎医院および市立大村市民病院で勤務。2001年より国境なき医師団(MSF)に参加し、スリランカ、リベリア、ソマリア、シリアなど、計11回の派遣で、外科医として活動に従事。2010年3月からMSF日本会長。

※MSFは、1971年にフランスで設立された国際的な医療・人道援助を行う非営利団体。

あなたができること





知る・広める



寄付をする



参加する

興味のある方は **国境なき医師団**  で検索！

講演を聞いていただいた皆さんにも、今日からできることがあります。
国境なき医師団に関わる3つの方法です。

知る・広める

世界の人道危機について関心を持続することが大切です。情報を調べたり、機会があれば周りの人に話したりして、関心の輪を広げることも支援になります。

寄付をする

自分にできる金額からMSFの活動を支えてください。命の危機に直面している人びとを救う大きな力になります。

参加する

MSF日本では海外派遣スタッフ・事務局スタッフ・ボランティアを随時募集しています。自分の力を生かしてみませんか。

「生きることをあたりまえの世界に～人道支援の壁～」という演題で、講師の黒崎伸子先生に貴重なご講演を賜りました。黒崎先生は、長崎県のご出身で、以前、「国境なき医師団日本」の会長をお務めになり、国際的な医療支援活動に尽力され、多大な貢献をなされました。現在は時津町で、黒崎医院院長として地域医療の発展に活躍されています。ご多用の中、年次大会の基調講演をお引き受けいただいたことを心から感謝申し上げます。

私たちは、今回の講演を通して「国境なき医師団」の活動内容について詳しく学ぶことができました。国境なき医師団(Medecins Sans Frontieres=MSF)は、独立・中立・公平な立場で医療・人道援助活動を行う民間・非営利の国際団体です。1971年にフランスで設立され、1992年には日本事務局が発足しました。MSFの活動は、緊急性の高い医療ニーズに応えることを目的としています。紛争や自然災害の被害者や、貧困など様々な理由で保健医療サービスを受けることができない人々へ、援助の手がさしのべられている様子を、映像を用いた先生のお話で詳しく知ることができました。現地での人道支援の壁となっているものは、やはり紛争と人権意識の欠如であり、「人間の尊厳」があまりにも軽視されていることが背景にあると思われました。MSFの医療サービスは、私たちIACの活動理念である「他者への奉仕」を、国際的なレベルで具体的に実践している最高の模範となるものだと実感しました。

るものだと実感しました。

MSFは世界各地に38の事務局を設置しており、主な活動地はアフリカ・アジア・中東・中南米で、2018年は70カ国以上で活動しています。約4万7000人の海外派遣スタッフ・現地スタッフ・事務局スタッフが世界各地で動いています。MSF日本では、2018年、106人のスタッフを27の国と地域に148回派遣し、活動しました。

黒崎先生は、長崎大学医学部卒業後、長崎大学病院や長崎医療センター等に勤務され、病院での職を辞して、2001年よりMSFに参加し、スリランカ、リベリア、ソマリア、シリアなど計11回の派遣で外科医として活動に従事されました。2010年からは、MSF日本の会長を務められました。平和で安定した日本での生活からは、とても想像できないほどの過酷な環境の中で、医療活動に懸命に取り組まれてきた黒崎先生の生き方に、私たちは深い感銘を受けました。

「そこであなたを待っている人がいる」。この言葉は、黒崎先生の人生の転機となったMSFのキャッチコピーです。私たちの助けを必要としている人が、身近なところにいるかもしれません。そのような人たちの存在に気づき、心から寄り添い、自分にできることを考えて具体的に行動を起こすことの大切さを、今回の講演を通して学ぶことができました。



2008年ソマリア：14歳男児の腹部銃創の治療中 © MSF



2008年ソマリア：手術室のチーム

© MSF

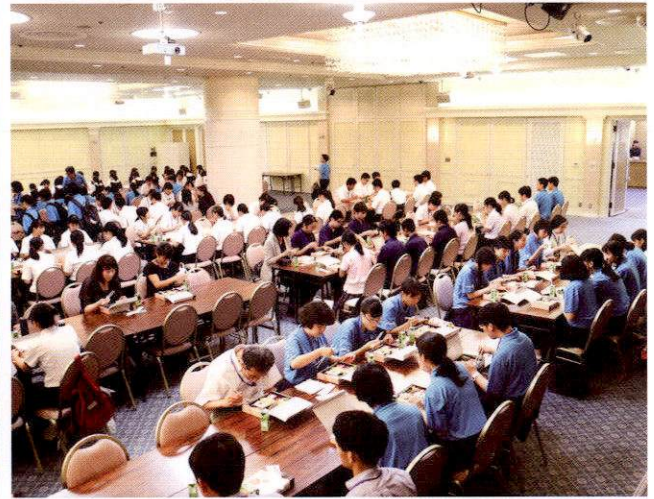


2013年シリア：自宅に爆弾が落ちて右足を膝上で切断した生後4か月の女の子 © MSF



紛争地であっても眼前には美しい景色が広がり、毎日を暮らす人びとの生活がある © MSF

午後の集い



吹奏楽部演奏

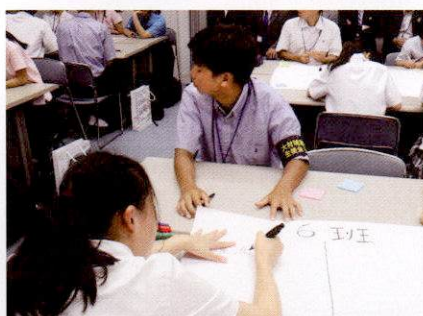
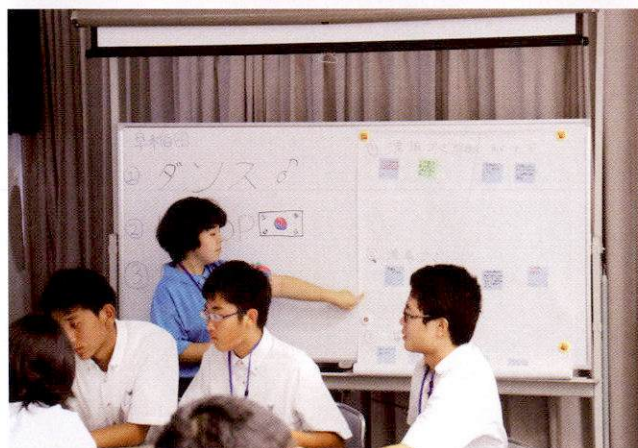
純心女子高等学校 吹奏楽部





第1分科会 「海洋ゴミ問題について」

長崎女子商業高等学校
インターアクトクラブ



2019-20年度 インターアクト年次大会

分科会 海洋ごみについて

長崎女子商業高校
インターアクトクラブ

海洋ごみはその場所によって

①漂流ごみ 海面や海中を流れにのって漂っているごみ

②漂着ごみ 海岸に打ち上げられたごみ

③海底ごみ 海底に沈んで堆積したごみ



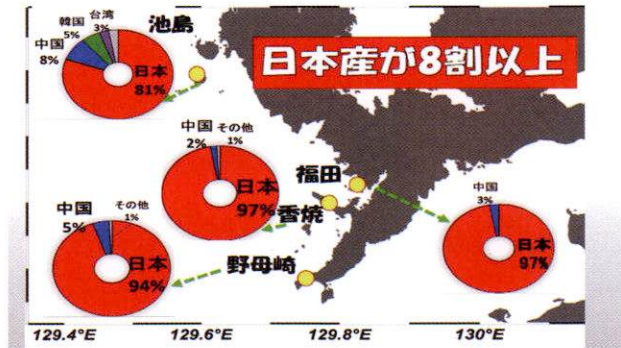
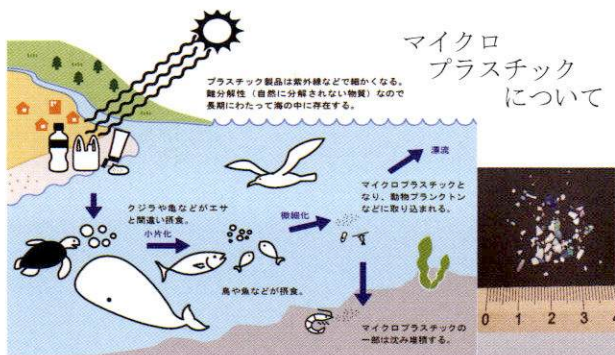
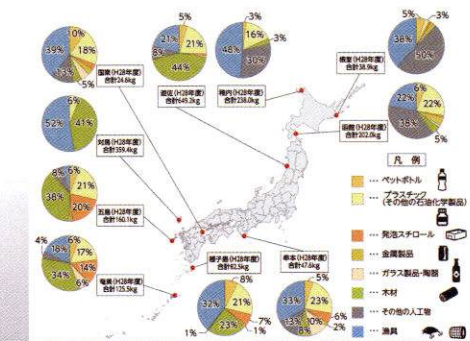
ポリタンク
毎年、日本海側沿岸への漂着が報告される。中には刺激性のある物質が残っていることもある



ペットボトル
プラスチック製容器
日本国内だけでなくいろいろな国や地域から流れてくる



魚を捕る網
海中に残っていると漁業と関係なく魚やカニなどの水生生物を引っ掛ける（ゴーストフィッシング）



参考資料

- 環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務
- ながさき海援隊
- 海のごみ J E A N
- 日本財団 2050年の海は
- 海洋ごみって何？
- 18歳の高校生が開発した 対馬
- 地球異変海洋プラスチック

特に、ながさき海援隊の皆様には大変お世話になりました
ありがとうございました



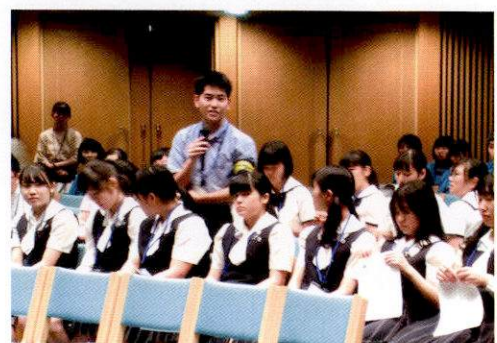
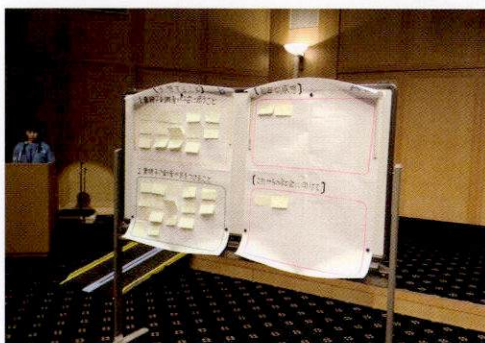
「車椅子体験」の流れ

1. はじめの挨拶
2. パワーポイントを使って車椅子の説明
(長崎純心大学 地域包括支援学科 学生)
3. Aグループ 車椅子体験 → クイズ 他
Bグループ クイズ 他 → 車椅子体験
4. パワーポイントを使ってクイズの解答
5. まとめ(長崎純心大学 地域包括支援学科 教員)
6. 終わりの挨拶

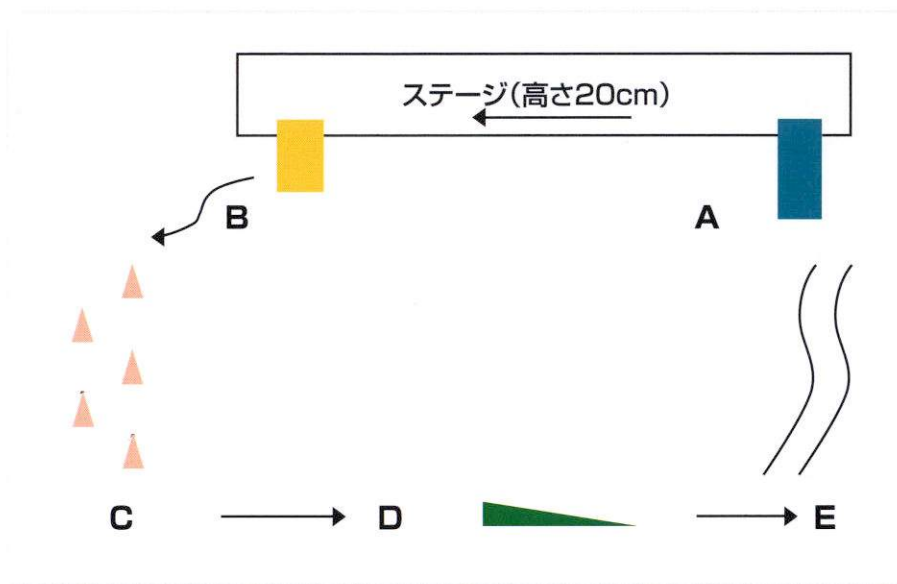


付箋に書く内容

1. 予 測
 - ① 車椅子利用者が乗っていて不安に思うこと
 - ② 車椅子を介助する上で気をつけること
2. 体験後
 - ① 実際に車椅子に乗って感じたこと、気づいたこと
 - ② 車椅子介助者が注意すること
3. 自由な感想・これからの社会に向けて



車椅子体験の内容（車椅子利用者・介助者・見学者の立場から）



- A. 高さ20cmの段差に2mのスロープを置き、昇り上がる。
- B. 高さ20cmの段差に1.2mのスロープを置き、後ろ向きで降りる。
- C. ジグザグに置いたコーンの間を通る。
- D. 高さ15cmの段差に寄せ、降りる。
- E. 狭い間隔を通る。



車椅子体験の内容（車椅子利用者・介助者・見学者の立場から）

私たちの分科会のまとめと言えることは、障がい者の方が制限なく生活していくためにもっとバリアフリーを増やしていくこと、また、社会の中で、障がいを持つ人たちや車椅子利用者が必要とする時と場で、そこに居合わせた人たちが自然と助け合うことができれば良いと思います。高校生の私たちこそが勇気をもって、手を差し伸べ、困っている人たちの助けになっていければと思います。

一人ひとりの違いを認めて、みんなが同じように過ごせる環境を目指していくために、今日のこのことをきっかけに、私たち高校生が、これからもっと積極的に学びと体験をしていったらいいのではないかと思います。

そのために、私たちがいつも優しく、あたたかい心をもって、周りの人と関わっていくことも大事だと感じました。





参加者を5つの班に分けて、ワークショップを行いました。手順は以下の通りです。

1 自己紹介 名字を使って自己紹介文を作り、発表し合いました。その後、班の話し合い結果を発表する代表者を決めました。

2 共通理解 スライドを使って、SNSの危険性について全員で確認しました。

(NTTdocomo「スマホ・ケータイ安全教室」より引用)

○SNSで気を付けたいこと

①自分や友達の情報

- 公開範囲を確認する。
- 公開前に個人情報が含まれていないかをチェック。
- 友だちの情報を勝手に公開しない。

②姿の见えない人とのやりとり

- 相手を安易に信用しない。
- 自己判断で勝手に会いに行かない。
- 個人情報を教えない。

③軽はずみな投稿

- 炎上すると将来に影響する恐れがある。
- イタズラでも犯行予告などは犯罪になる。
- インターネットは匿名ではない。



3 ワークショップ 「こんなつもりじゃなかったのに」をテーマに、班ごとにカードを使った話し合い活動を行いました。

(長崎県教育委員会・LINE株式会社制作「SNSノートながさき」より引用)

①「リスクを見積もる力」を身につける。

同じ言葉が「個人メッセージ」と「グループメッセージ」で与える影響の違いを考える。

②受け取り方に個人差があることを知る。

LINEのやりとりが記載された5枚のカードを、感情を天気になぞらえた状況シート(晴れ「楽しい」、曇り「変わらない」、雨「いらっとする」、雷「けんかする」)のどこに置くか話し合うことで受け取り方の違いを考える。

③自分の言葉がどのように受け取られたかを知ること、気を付けるべきことに気付く。

まず、グループLINEでのやりとりの最後の返答を考えて自分のカードに記入する。それから、隣の班とカードを交換し、他の生徒に自分の返答についてアドバイスをもらう。これらを通して、自分の意図と他人の受け止め方の違いを知り、どうすれば誤解されずに思いを伝えられるのかを具体的に考え、その考えを班で共有する。

【各班の気付き】

- 1班 励ましたり、「そうだね」と優しく丁寧にメッセージを返すことと、先のこと、相手のことを考え発言するタイミングを考えるべき。
- 2班 共感してあげて、その後に前向きになれる言葉をかけてあげる。
- 3班 送るときは無視しない、相手の気持ちを考えること、絵文字などを付ける。
- 4班 自分が出してほしいメッセージを相手に送る。
- 5班 人によって考え方が違うので、相手の気持ちを考えてメッセージを送り、見るときは会話の流れを把握し、不快の思うことがあっても気にしない。



優秀インターアクトクラブ表彰

クラブ運営部門



聖和女子学院高等学校 IAC



諫早農業高等学校瑞穂寮 IAC



エントリー該当校はありません

社会奉仕部門



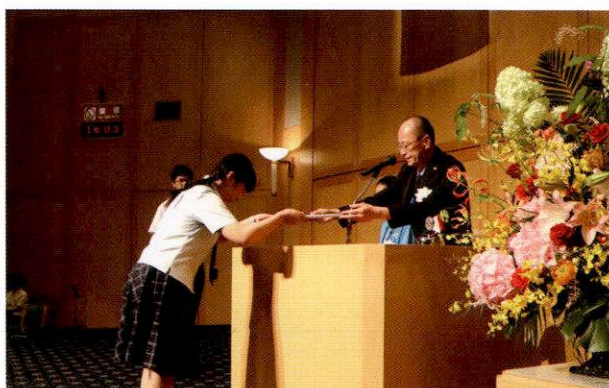
五島高等学校 IAC



島原中央高等学校 IAC



活水高等学校 IAC



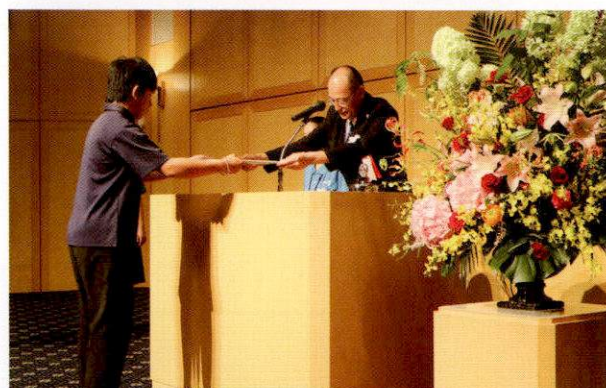
聖和女子学院高等学校 IAC



五島高等学校 IAC



諫早農業高等学校瑞穂寮 IAC



島原中央高等学校 IAC



活水高等学校 IAC

優秀インターアクトクラブ表彰

国際理解部門



佐賀清和高等学校 IAC



鎮西学院高等学校 IAC



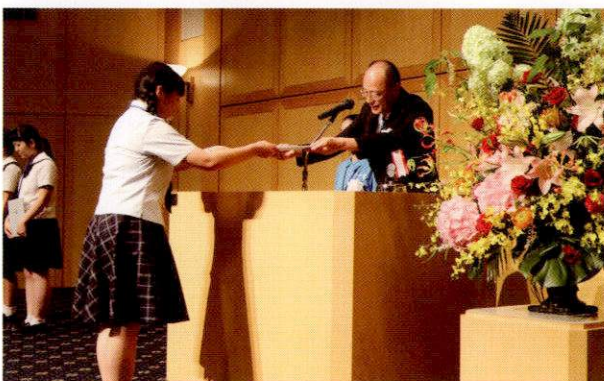
聖和女子学院高等学校 IAC



佐賀清和高等学校 IAC



鎮西学院高等学校 IAC



聖和女子学院高等学校 IAC

特別功労賞

前年度
ホスト校

牛津高等学校 IAC

前年度
コ・ホスト校

佐賀清和高等学校 IAC

前年度
コ・ホスト校

佐賀女子高等学校 IAC



牛津高等学校 IAC



佐賀清和高等学校 IAC



大会総評

国際ロータリー第2740地区
2019-2020年度
インターアクト委員長
徳川 清隆



本日は、国際ロータリー第2740地区第37回インターアクト年次大会が盛況の中、成功裡に終わりを迎えましたことを感謝申し上げます。

海星高等学校のインタークターの皆さん、それから沢山のお膳立てをしていただきました長崎西ロータリークラブの許斐会長、劉大会実行委員長はじめ関係者の皆様、本当にありがとうございました。併せまして、コ・ホスト校インターアクトクラブの皆さんのご支援をいただき、かくも盛大に挙行できましたことは同慶の至りです。

総評は参加されました皆様方がそれぞれお持ちですので、私自身が感じたところや考えていることを述べさせていただきます。

今大会のテーマ「ともに生きる」は、大変シンプルであります、とても難しく大きなテーマであり、しかも意味深いテーマです。

インターアクトの皆さん、国境なき医師団の元会長の黒崎先生の基調講演「生きることをあたりまえの世界に～人道援助の壁～」をお聴きして、何を学び、何を得たのでしょうか？ そして、3分科会の研修はいかがだったのでしょうか？

それぞれの分科会代表者にまとめの発表を行っていただきました。

開会式の中で、長崎市長の田上富久様が述べられました「学びの場」「学びを学ぶ場」として大会が終わるよう期待しますと挨拶されました。

本日、皆さん一人ひとり、それぞれに学びや理解を得られた、その相違ない大会になったと思います。

また、この年次大会では、インターアクトクラブの活動実績に応じて、クラブ運営、社会奉仕、国際理解、それぞれの部門でガバナーより賞を贈られるのですが、その一つ、国際理解部門の受賞校で佐賀清和高校の活動事例をお伝えします。

それは、佐賀県ユニセフ協会と強い繋がりを持って、世界の貧困や大虐殺などに理解を深められました。ルアンダ出身の永遠瑠・マリールイズさん、マニ・マーティンさんを迎えての講演会に参加され、より深く世界の貧困や大虐殺について学ばれました。その後も、理解と学びの機会を、継続して作られているところです。

ロータリーが目指す真の奉仕は、職業を通じて世界に奉仕することですが、この学びを養うことによって、何が解決されるのか、それは争いのない平和な世界を築き上げる

平和の心を持つ人に通じていくと考えます。

まさしく、今大会のテーマ「ともに生きる」、そして黒崎先生の「生きることをあたりまえの世界に～人道援助の壁～」の基調講演に繋がっているようです。

ぜひ、インターアクターの皆さん、この様に先の先を見出される活動を、今後とも行っていただきたいと思います。

本年度、国際ロータリーのテーマは「ロータリーは世界につなぐ」です。

ここにお集まりいただいた皆様が世界へつなぐ人となりインターアクトクラブ活動、ロータリー活動を通じて、よりよい世の中、より平和な世の中の実現にお互い頑張りましょう。

終わりにインターアクターの皆さん、そして関係各位のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、本大会にあたってのご言葉といたします。

本日はありがとうございました。



次年度ホスト校挨拶

活水高等学校インターアクトクラブ
幹事 板井凜々花



ただ今ご紹介に預かりました活水高等学校インターアクトクラブの板井凜々花です。

来年度は私たち活水高等学校インターアクトクラブがホスト校となり、大会が開催されることとなっています。

本大会をホスト校として企画・開催してくださいました海星高校インターアクトクラブのみなさん、ならびに長崎西ロータリークラブの皆様、コ・ホスト校として分科会を行っていただきました長崎女子商業高等学校、純心女子高等学校、長崎女子高等学校の皆さんをはじめ、大会関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

基調講演での黒崎先生のお話や分科会での経験は普段できるものではなく、とても勉強になりました。また、多くの高校のインターアクトクラブのみなさんともお話することができたことも良い経験になりました。

さて、活水高校がホスト校となる来年度は2020年東京オリンピックの年、また長崎にとっては被爆75周年の記念の年ともなります。この記念すべき年にホスト校をできることを嬉しく思うとともに、その意味も考えながら次年度の大会を長崎出島ロータリークラブの皆様と一緒に開催できればと思っています。私たちが素晴らしい大会にできるよう努力するとともに、皆様がまた、この長崎の地に集う日を心待ちにしています。よろしくお願いいたします。



閉会式



大会出席者一覧

来賓

- ・長崎市長 田上 富久
- ・海星高等学校 校長 武川眞一郎

インターアクト年次大会 講師

- ・基調講演 黒崎 伸子

国際ロータリー第2740地区 役員

- | | | | |
|--------------------|-------|---------------|-------|
| ・第2740地区ガバナー | 千葉 憲哉 | ・地区インターアクト委員 | 山下 功 |
| ・第2740地区バスターガバナー | 福田 金治 | ・地区インターアクト委員 | 小川 寛 |
| ・第2740地区幹事 | 大石 竜基 | ・地区インターアクト委員 | 稲永 卓司 |
| ・第2740地区副幹事 | 松田 洋一 | ・地区インターアクト委員 | 森 浩 |
| ・第2740地区インターアクト委員長 | 徳川 清隆 | ・地区インターアクト委員 | 浦中 勝美 |
| ・第1グループガバナー補佐 | 白石公太郎 | ・地区インターアクト委員 | 嶽本 幸次 |
| ・第7グループガバナー補佐 | 比良 孝蔵 | ・地区ローターアクト委員長 | 高松 茂信 |
| ・第9グループガバナー補佐 | 浦 信夫 | ・地区ライラ委員長 | 山口 宏二 |
| ・第10グループガバナー補佐 | 小野原卓嗣 | | |
| ・地区インターアクト委員 | 長戸 和光 | | |

インターアクトクラブ

IAC名 佐賀清和高等学校 提唱:佐賀RC

- 【顧問教諭】田脇 有夏
- 【ロータリアン】楠田 俊明・古川 麻由美
- 【生徒】高垣愛里子・小川 未来・谷川 礼奈
 斎藤 凜奈・古賀 萌花・森 しのは
 新 美紘・生田 夢・田浦 沙良
 菊池 雪花・田中 舞・三原 千怜
 姉川 彩虎・陰山 拓海・中野みちる
 副島 春花・大森 叶愛・井手 杏香
 河島 歩花・横田 彩音・嘉村 小雪

IAC名 牛津高等学校 提唱:牛津RC

- 【顧問教諭】佐藤 倫子・森川 美夏
- 【ロータリアン】栗原 賢司・藤田 征己
- 【生徒】大木 菜央・古賀 真菜・田島実玖留
 古川陽之季・竹下 善喜・川久保未来
 古賀絵莉香・大石 望月・浅川 真
 岸川 永・稲富 貴之

IAC名 有田工業高等学校 提唱:有田RC

- 【顧問教諭】森田 秀二
- 【ロータリアン】徳永 隆信・鶴田 敬郎
- 【生徒】井上 和哉・橋本 拓海

IAC名 唐津西高等学校 提唱:唐津RC

- 【ロータリアン】川島 雄輔・太田 年一
- 【生徒】箴島実乃利・林田 晶・宮崎 大洋
 進藤 海・谷口 美憂・藤村 重
 諸熊あすか・岩村 柚・富岡亜理沙
 松山 祐香・山口 春妃・砂田千亜記
 幸村 有梨・松本 成美・小浦 茉莉
 瀬戸 美南・鶴田梨々香・古賀 鈴苑
 瀧下 来夢・辻 幸歩・山内 朱莉
 山下 優・江頭浩太郎・小森萌々子
 内田 萌香・笠原 千穂・向 菜々子
 吉村 智・増本 歩夢・宮崎 祥輝
 飯田 峻斗・市丸 拓矢・古川 隼人
 山崎 羽華

IAC名 武雄高等学校 提唱:武雄RC

- 【顧問教諭】小林 生美
- 【ロータリアン】谷口 優
- 【生徒】吉田 光希・久富 華那・古賀菜々子

IAC名 西海学園高等学校 提唱:佐世保RC

- 【顧問教諭】林田 明浩
- 【ロータリアン】椎山 昇
- 【生徒】金崎 蘭・浦野 帆香・平野 壮太
 辛島 妃夏・北野 叶絵

IAC名 聖和女子学院高等学校 提唱:佐世保南RC

- 【顧問教諭】草野 貴紀
- 【ロータリアン】藤永 辰弘・曾和 英徳・森 浩徳
- 【生徒】廣田みのり・山下 こと・手光 彩
 牟田 彩純・山口 真穂

IAC名 佐世保工業高等学校 提唱:佐世保北RC

【顧問教諭】森下 浩二

 【ロータリアン】宮崎 有恒・鐘ヶ江和重・蒲池 芳明
中川 信次・近藤 竜一

IAC名 向陽高等学校 提唱:大村RC

【顧問教諭】諸隈 直子・井手 陽子

【ロータリアン】森 広康・生野信一郎・宮本 朗

 【生徒】芦塚 友香・坂本 絵仲・田口 夢姫
平戸 穂空・松浦 朱那・村上侑莉亜

IAC名 大村城南高等学校 提唱:大村東RC

【顧問教諭】澤邊かおる・金子 琢磨

【ロータリアン】小柳伊佐義・井手眞一郎・諸岡 雅子

 【生徒】清水 豊己・池田 望愛・塚根 瞭侑
中島 美優・早川 俊明・刀坂 光紀
川口 優華・山田 智也・内海 奈菜
高木 海斗・田川 裕鷹・山上 悠楓

IAC名 鎮西学院高等学校 提唱:諫早北RC

【顧問教諭】末吉 幸子

【ロータリアン】高山 和也・山崎 真琴

 【生徒】長濱 真桜・保坂 裕菜・松下 愛果
岩尾 来夢・保坂 裕梨・三原 奨悟
山崎 寛人・池田 愛華・中村 美月
坂口あいり・槌本 萌

IAC名 長崎女子高等学校 提唱:長崎RC

【顧問教諭】柴田 鉄也

【ロータリアン】八反田義隆・村上 順三・三山 格

 【生徒】森田 凪咲・平田 優菜・矢野 愛佳
元村 千優・若杉 愛花・近藤 葵
崎田 早苗

IAC名 活水高等学校 提唱:長崎出島RC

【顧問教諭】涼松 育子・杉町たまみ

【ロータリアン】鉄川 進・庄司 鉄平・草野 幸子

 【生徒】板井凜々花・大宅 菜穂・田崎 夏鈴
原口 真子・脇本 由生・田川 美桜
早川 綾乃・坪井 梨乃

IAC名 純心女子高等学校 提唱:長崎中央RC

【顧問教諭】佐古 照美・市瀬めぐみ・桑原 奈保

 【ロータリアン】高田昌一郎・渡邊 芳明・山本 隆治
増井 直実・前田 稔

 【生徒】本田 日和・益永 莉緒・草野 碧
池永 紗希・寺脇 美桜・東 鈴奈
安田 桃子・小島ほの楓・林 遙菜

IAC名 島原中央高等学校 提唱:島原RC

【顧問教諭】古瀬 裕子

 【ロータリアン】大場 堂志・小嶺 嘉浩・村中 恵樹
吉田 清隆

 【生徒】栗戸 拓海・井上 真由・松浦 蒼
中村 直輝・山崎 真也・稲垣 暁帆
新田 愛夢・塩川 歩佳・松本 紗智

IAC名 大村工業高等学校 提唱:大村北RC

【顧問教諭】湊山 美紀

【ロータリアン】麻生 康友・永石 辰巳

【生徒】堀内 愛子・松本 侑大

IAC名 諫早農業高等学校瑞穂寮 提唱:諫早RC

【顧問教諭】中村 博史

 【生徒】佐伯 大希・宇野 柊馬・中野 颯馬
長岡 大紋・古川 正義・松永耕四郎

IAC名 五島高等学校 提唱:福江中央RC

【顧問教諭】渡辺 洋平

【ロータリアン】山本 稔・平田 昭文

 【生徒】松口 聖夏・松村 萌花・関田 結
山崎 麻

IAC名 長崎女子商業高等学校 提唱:長崎南RC

【顧問教諭】佐藤 明

 【ロータリアン】松尾 友平・尾上 徹・岩永 浩昭
村山 清治・大熊 稔幸

 【生徒】片山智奈美・早稲田美涼・田中 実憂
村田 愛華・松本 涼香・石橋 萌

IAC名 海星高等学校 提唱:長崎西RC

【顧問教諭】福田 宏樹

 【ロータリアン】島崎 義忠・三宅 敏彦・江上 徹也
劉 済昌・安永 勝信・馬場 政徳
平山 寿則・深堀 俊一・許斐 義彦
高野 一廣・吉田 良尚・水本 由幸
北口 功幸・川瀬 隆史・野崎 地平
山田 吉盛・市川 清史・田中 豊俊
山田 孝二・柳 龍一郎・石山 俊介
草野 郁子・牧 文春

 【生徒】栗田 卓摩・高橋瑠之助・脇田なつみ
赤木 亜湖・井石 歌音・米田浩太郎
中尾 紗菜・豊田樹梨愛・川畑 優月
今井 彩・畑 真凜・小川 佳恩
中村 楓子・山田 颯良・鍵本 昂佑
川原 啓太・吉田 素子・手塚凜太郎

思い出の大会スナップ

